

御嶽山の噴火による被害状況等について（第4報）

1. 本省及び地方支分部局の体制について

| | | | | | |
|---------|-------|----------------|---------|-------|------------|
| 国土交通本省 | 9月27日 | 12:36 注意体制 | | | |
| | | 13:45 非常体制 | | | |
| | 9月28日 | 17:00 非常災害対策本部 | | | |
| 関東地方整備局 | 9月27日 | 14:00 注意体制 | 北陸信越運輸局 | 9月27日 | 12:50 注意体制 |
| 中部地方整備局 | 9月27日 | 12:36 警戒体制 | 中部運輸局 | 9月27日 | 15:00 注意体制 |
| | | 14:45 非常体制 | | | |
| 国土地理院 | 9月27日 | 12:36 注意体制 | 気象庁 | 9月27日 | 12:36 警戒体制 |
| | | 13:45 非常体制 | | | 17:00 非常体制 |

2. 噴火の概要

- ・ 9月27日11時41分頃から火山性微動が発生し始め、同11時52分頃に噴火が発生した。中部地方整備局が設置している滝越カメラによれば南側斜面を3キロメートルを超えて流れ下る噴煙を観測したため、噴火警戒レベル3（入山規制）を発表し、火口から4キロメートル以内に立ち入らないように呼びかけている。なお、火山性微動が継続していることから現在も噴火が継続していると推測される。
- ・ 御嶽山で噴火が発生したのは2007年（平成19年）3月下旬のごく小規模な噴火以来のこと。
- ・ 9月27日に気象庁が降灰の拡がりについて聞き取り調査を行った結果、御嶽山の西側の岐阜県下呂市萩原町から東側の山梨県甲府市飯田にかけての範囲で降灰が観測されている。
- ・ 9月28日中部地方整備局の協力を実施した上空からの観測によると、御嶽山山頂付近に北西から南東方向に伸びる火口列が見られ、複数の火口から白色の噴煙が勢いよく火口上1000メートルまで上昇するのが認められ、ときおり火山灰交じりの薄灰色の噴煙が認められた。
- ・ 9月29日09時現在、噴煙は火口縁上500mまで上がっている。

【噴火警報の発表状況等】

- 9月27日12:36 噴火警報発表（火口周辺警報）
噴火警戒レベル1（平常） → レベル3（入山規制）
※噴火警戒レベル3は、平成20年3月31日の御嶽山の噴火警戒レベルの運用開始以来初めて。
- 対象市町村等
 - ・ 長野県：王滝村、木曾町
 - ・ 岐阜県：高山市、下呂市
- 防災上の警戒事項
 - ・ 火口から4キロメートル程度の範囲では大きな噴石の飛散や火砕流等に警戒が必要
 - ・ 風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要
 - ・ 爆発的な噴火に伴う大きな空振に注意が必要
- 9月27日13時35分 ~ 降灰予報を約6時間毎に発表し、降灰の予想される地域を図示
- 9月27日16時 ~ 火山の状況に関する解説情報を概ね3時間毎に発表
- 9月28日19時30分 噴火警報（火口周辺警報）を更新し、火砕流に対して警戒を呼びかける

3. 気象の見通し

- ・御嶽山の山頂付近は、今日29日10時現在、5～10メートルの北の風が吹いていると見られる。今日29日は西の風が次第に強まり、10～15メートルとなる見込み。明日30日は昼頃まで西の風が強く、15～20メートルの見込み。
- ・長野県南部、岐阜県飛騨地方の天気は、今日29日は晴れる見込み。明日30日は概ね晴れるが、気圧の谷の影響で、朝晩は雲が多くなる見込み。

4. 国土交通省の対応

- 9/27 14:25大臣防災センター登庁（対策を指示）
- 9/27 14:30気象庁記者会見
- 9/27 14:40第1回大臣、中部地整局長テレビ会議
- 9/27 15:43第2回大臣、中部地整局長テレビ会議
- 9/28 10:30御嶽山の火山活動に関する国土交通省関係局長等会議を開催

【救助、下山支援】

- リエゾン（情報連絡員）の派遣
 - ・官邸リエゾンを派遣（9/27～28）
 - ・中部地方整備局より、長野県庁へ2名派遣（9/27）、3名派遣（9/28～29）、長野県王滝村へ1名派遣（9/27～28）、2名派遣（9/29）、長野県木曾町へ1名派遣（8/27～28）、2名派遣（9/29）、岐阜県庁へ1名派遣（9/27）、2名派遣（9/28～29）、岐阜県高山市へ2名派遣（9/27～28）、岐阜県下呂市へ2名派遣（9/27～28）。
 - ・北陸地方整備局より、岐阜県高山市へ1名派遣（9/27）。
- 専門家の派遣
 - ・国総研、土研より砂防専門家3名を派遣中（噴火・降灰の状況把握と二次災害防止対策を検討するため）
- 政府現地対策本部へ派遣
 - ・国土交通本省より1名派遣、中部地方整備局より1名派遣、北陸信越運輸局より2名派遣、北陸信越運輸局長野支局より1名派遣（9/28～29）

○災害対策用機械等出動状況（9月29日11:00現在）

| 整備局名 | 出動先 | 出動理由 | 機械名 | 台数 | 状況 | 期間 |
|------|-------------------------|----------------|-------|----|--------|---------------------|
| 中部地整 | 長野県木曾郡王滝村（田ノ原駐車場） | 下山者支援、自衛隊等救助支援 | 照明車 | 2 | 稼働後撤収済 | 9月27日～ <u>9月28日</u> |
| 中部地整 | 長野県木曾郡木曾町（黒沢登山口） | 下山者支援 | 照明車 | 1 | 稼働後撤収済 | 9月27日～ <u>9月28日</u> |
| 中部地整 | 長野県木曾郡開田村（開田登山口） | 下山者支援 | 照明車 | 1 | 稼働後移動 | 9月27日～9月28日 |
| | 長野県木曾郡木曾町（黒沢登山口） | | | | 稼働後撤収済 | 9月27日～9月28日 |
| 中部地整 | 岐阜県下呂市小坂町（濁河温泉登山口） | 下山者支援、自衛隊等救助支援 | 照明車 | 1 | 稼働後撤収済 | 9月27日～9月28日 |
| 中部地整 | 長野県木曾郡木曾町（町道鹿ノ瀬線） | 降灰清掃 | 路面清掃車 | 1 | 待機中 | 9月27日～ |
| 中部地整 | 長野県木曾郡木曾町（開田高原保険休養地内町道） | 降灰清掃 | 路面清掃車 | 2 | 稼働後撤収済 | 9月27日～ <u>9月28日</u> |
| 中部地整 | 長野県木曾郡木曾町（開田高原保険休養地内町道） | 降灰清掃 | 散水車 | 3 | 稼働後撤収済 | 9月27日～ <u>9月28日</u> |

| | | | | | | |
|------|--------------------|--------|--------|---|--------|-----------------|
| 中部地整 | 長野県木曾郡木曾町（木曾維持出張所） | 降灰清掃 | 路面清掃車 | 1 | 待機中 | 9月28日～ |
| 中部地整 | 長野県木曾郡木曾町（木曾維持出張所） | 降灰清掃 | 路面清掃車 | 1 | 移動中 | 9月29日～ |
| 中部地整 | 長野県木曾郡木曾町（木曾維持出張所） | 降灰清掃 | 散水車 | 1 | 待機中 | 9月28日～ |
| 中部地整 | 長野県木曾郡王滝村（八海山登山口） | 現地情報収集 | 衛星通信車 | 1 | 稼働後撤収済 | 9月27日～ 9月28日 |
| 中部地整 | 岐阜県下呂市小坂町（濁河温泉登山口） | 現地情報収集 | 衛星通信車 | 1 | 稼働後撤収済 | 9月27日～ 9月28日 |
| 中部地整 | 長野県木曾郡王滝村 王滝村役場 | 映像配信 | Ku-SAT | 1 | 稼働後待機中 | 9月28日～ |

- ・9/27より照明車両5台が徒歩下山者および自衛隊等入山の支援のため稼働。
- ・木曾町の要請を受け、町道の降灰除去作業を中部地整の路面清掃車3台、散水車2台で実施。町道鹿ノ瀬線の降灰除去は4:20作業完了。
- ・28日19:05 防衛省と調整し、「9月28日19時05分から追って通知するまで、全ての有視界飛行方式で飛行する航空機は、救難活動への干渉を避けるため、御嶽山の半径5NM（約9.3km）以内、地上から11,000ft（約3,400m）までの範囲で他の航空機に特に注意すること」を内容とする航空情報（ノータム）を発行（28日11:51に発行した航空情報を更新）。

【二次災害防止対策】

○9月28日、土砂災害防止法に基づく緊急調査に着手。

○TEC-FORCEの派遣

- ・中部地方整備局より救助・下山支援および被災状況把握、応急対策実施等のため、13名派遣（9/27）、19名派遣（9/28）、9名派遣（9/29）。

○防災ヘリコプターによる被害状況調査

- ・中部地方整備局防災ヘリコプターによる御嶽山上空からの調査を実施（9/27 15:20～）。山頂南西側大きく開いた3カ所の噴火口、山頂付近に厚さ50cmの降灰を確認。
- ・中部地方整備局防災ヘリコプターによる砂防専門家等の御嶽山上空からの降灰状況調査を実施（9/28 6:02～、9:30～、9/29 12:00～）。

○地上における状況調査

- ・地上より降灰状況調査を実施中。UAV（無人ヘリ）を用いて立入規制区域を含めて調査を実施中。

○関係自治体等への情報提供

- ・関係する県、市町村、関係機関等に、今後の注意事項をとりまとめた「救助活動等における土砂災害への警戒について」を配布し、救助関係機関が活用。

○今後の応急対策に資する備蓄資材（大型土のう袋等）を確保済み。

【その他】

○長野県道1路線で噴火による通行規制を14:20から実施中

上記の外に、町道鹿ノ瀬線、屋敷野線、千本松線、寒原倉越線、村道41号線について噴火による通行規制中

○気象庁発表の火山灰情報に基づき、火山灰の影響する高度、移動方向等に関する航空情報（ノータム）を27日12:21に発行。以降、継続して発行（14通目29日6:21）。

5. 気象庁の対応

- 御嶽山の火山活動状況について、御嶽山周辺の地震計、空振計、傾斜計、遠望カメラ等の観測ネットワークにより、24時間体制で監視中。
- 噴火警報等を発表するとともに、地元自治体をはじめ、関係機関に対する解説及び資料の提供を各地気象台より適宜実施。
- 気象庁機動調査班(JMA-MOT)を現地に派遣して、噴火の状況や降灰の状況等の調査を実施(長野地方気象台：9月27日13時55分～、気象庁：9月27日15時40分～)
- 降灰の拡がりについて気象台から自治体等への聞き取り調査を実施(9月27日～)
- 火山活動状況に関して記者会見(9月27日14時30分)
- 御嶽山山頂部における救助活動の実施にあたっての留意事項について長野・岐阜両県等関係機関に周知(9月27日)。
- 長野県の災害対策本部会議に出席(9月27日～)
- 長野県、岐阜県、各県内関係市町村及び地方整備局等の関係機関に対して、気象情報(御嶽山上空の風と周辺の天気予想)を提供(9月28日5時～1日2回の提供)
- 国土交通省中部地方整備局のへりに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認(9月28日午前)

- 陸上自衛隊のへりに同乗し、上空から御嶽山の火山活動の状況を確認(9月28日午後)
- 気象庁機動調査班により火山ガス観測等を実施(9月28日)
- 火山噴火予知連絡会拡大幹事会を開催し、統一見解を公表(9月28日)
- 政府の現地対策本部に東京管区気象台気象防災部長他2名を派遣(9月28日)

6. 国土地理院の対応

- ・御嶽山の被害状況把握のため、空中写真撮影準備中(9月27日)
- ・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真撮影を実施(9月28日)
- ・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真を関係機関へ提供(9月28日)
- ・御嶽山の噴火周辺地域の空中写真および正射画像をホームページで公開(9月28日)
URL：<http://www.gsi.go.jp/BOUSAI/h26-ontake-index.html>

7. 一般被害の状況

○警察庁情報(9月29日11:30現在)

- ・人的被害

長野県：死者4人、心肺停止27人(うち6名収容)、負傷者53人(※負傷者53名は病院に収容された負傷者数)

岐阜県：負傷者10名

8. 所管施設等の状況

○河川(9月29日11:00現在)

- ・現時点で被害情報なし

○管理ダム(9月29日11:00現在)

- ・現時点で被害情報なし

○土砂災害(9月29日11:00現在)

- ・現時点で被害情報なし

○道路(9月29日11:00現在)

- ・現時点で被害情報なし

- 鉄道関係（9月29日11:00現在）
 - ・9月27日 12時55分より御岳ロープウェイは運転休止

- 航空関係（9月29日11:00現在）
 - ・空港施設等被害情報なし
 - ・欠航便情報なし

- 自動車関係（9月29日11:00現在）
 - ・おんたけ交通 バス3路線運休中

- 海事関係（9月29日11:00現在）
 - ・現時点で被害情報なし

- 港湾関係（9月29日11:00現在）
 - ・現時点で被害情報なし

- 物流関係（9月29日11:00現在）
 - ・現時点で被害情報なし

- 下水道（9月29日11:00現在）
 - ・現時点で被害情報なし

- 公園（9月29日11:00現在）
 - ・現時点で被害情報なし

- 宅地（9月29日11:00現在）
 - ・現時点で被害情報なし

- 公営住宅関連等（9月29日11:00現在）
 - ・現時点で被害情報なし

- 官庁施設（9月29日11:00現在）
 - ・現時点で被害情報なし

- 観光関係（9月29日11:00現在）
 - ・現時点で被害情報なし

| |
|--|
| 問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 佐々木 代 表：03-5253-8111 内線35-822 直 通：03-5253-8461 |
|--|